

和地ひとみレポート No.410

感染症の流行時の避難所対応は…

保健所と市の連携に課題があるのでは



■ “自宅療養者”の災害発生時の対応

…毎年、9月は台風の被害の多い月ですが、今年については9月17日（金）に台風14号の接近について、そして9月30日（木）には台風16号の接近について、市の防災安全課が備え等について注意喚起の広報を行っています。

…そして、台風16号の発生が報道されたことを受け、市は30日の台風への備えについての広報の1日前の9月29日（水）に、「“自宅療養者”の災害発生時の対応について」を広報。その内容は以下の通りでした。

【「自宅療養者」の災害発生時の対応について】 （東大和市 防災安全課）

風水害や震災等はいつ発生するかわかりません。新型コロナウイルス感染症がまん延している状況において、自宅療養中に災害が発生するリスクがあります。

自宅での災害リスクが高く、在宅避難が危険と判断し、市が開設する前に防災安全課(042-563-2111:内線 1352～1354)までご連絡いただき、指示にしたがっていただきますようお願いいたします。（避難できる避難所をご案内します。）

…この内容を見ると、新型コロナウイルス感染症で自宅療養を行っている人は、災害発生時に避難所への避難を希望する場合、まずは市役所に電話をして指示を仰ぐということになっているようです。報道などによれば、自宅療養者についてもその症状の重さは人それぞれです。台風のように、被害発生が予測でき、備えをする時間があるような災害の場合は、まだ、市役所に電話をして指示を仰ぐということは可能かもしれませんが、予測のできない大地震などの場合は、本当にこのような対応が機能するのか疑問です。

…現在は、新規感染者数も減少し、コロナ禍は少し落ち着いた状況ですが、新型コロナウイルス感染症以外にも、今後、同じように新しいウイルスによる感染危機が発生することは考えられます。東大和市においては、9月に発生した2つの台風による大きな被害はなく、市の避難所も開設されませんでした。今回の市の防災安全課の広報を受け、改めて、感染症のまん延時の避難所対応について調べてみました。

■保健所と市の連携は

…新型コロナウイルス感染症の感染者の情報を取りまとめている保健所ですが、東大和市内には保健所はありません。これは、1994年、国が保健所法を半世紀ぶりに大改正する形で、地域保健法を制定したことによるもの。急速に進んだ高齢化に対応するため、住民の健康づくりや保健・福祉の連携を図る観点により、市町村への権限移譲が重視された結果、保健所の統廃合が進み、全国の保健所は、1992年の852カ所をピークに統廃合により減少し、2020年4月現在では、全国にある保健所は469カ所となり、都道府県、政令市、

中核市、特別区などが設置、運営するようになっていきます。よって、多摩地域は7つの保健所で全体をカバーしている状況です。

【多摩地域の保健所と所管する市町村】

◆西多摩保健所(所在地:青梅市)

青梅市・福生市・羽村市・あきる野市・瑞穂町・日の出町
檜原村・奥多摩町

◆南多摩保健所(所在地:多摩市)

日野市・多摩市・稲城市

◆多摩立川保健所(所在地:立川市)

立川市・昭島市・国分寺市・国立市・東大和市
武蔵村山市

◆多摩府中保健所(所在地:府中市)

武蔵野市・三鷹市・府中市・調布市・小金井市・狛江市

◆多摩小平保健所(所在地:小平市)

小平市・東村山市・清瀬市・東久留米市・西東京市

◆八王子市保健所(所在地:八王子市) 八王子市

◆町田市保健所(所在地:町田市) 町田市

…東大和市のホームページでは毎日、東京都から出される区市町村別患者数（前日までの累計）を公表するとともに、「新たに発生した患者数」の情報、「既に退院（療養期間経過を含む）及び死亡された方の累計数」、「新規感染者の性別や年代、既存感染者を含めた療養状況などの情報提供」を行っています。公表している市もこれ以上の情報はつかんでいない状況。つまり、新規感染者の住んでいる地域、家族状況、自宅療養なのか入院なのか等の状況については一切把握していません。

…よって、今回、市が公表した「“自宅療養者”の災害発生時の対応について」を、市内の自宅療養者に確実に情報提供することは不可能。東大和市では、市独自で、自宅療養者の希望者には食料などの日用品などを玄関前までお届けするサービスを行っていますが、これも自宅療養者からの連絡を受けてのもの。このサービスを希望された方には、市から連絡を入れることも可能ですが、それ以外の市内の自宅療養者の数や住所などは、市も分からない状況です。

…では、保健所は自宅療養者となった方に対して、どのような情報を提供しているのか。保健所が自宅療養者となった方に手引きやしおりのようなものを渡しているとは思いますが、その内容に、災害時対応が入っているのか。市は自宅療養者が得ている情報と連携した内容で、災害時の市の対応を公表したのか。その点について市に確認したところ、保健所がどのような情報を自宅療養者に渡しているのか市は把握していないとのこと。
(裏面に続く)

一方、市の防災安全課は台風の接近に伴い、保健所のホームページを確認したところ、「自宅療養者が災害時に避難の必要性を感じた場合は、住んでいる市の担当に確認するように」といった旨のことが書かれていたため、今回の対応の広報を行ったとのことでした。

…ちなみに、東京都の福祉保健局が作成している『新型コロナウイルス感染症：自宅療養者向けハンドブック』を確認しましたが、感染を広げないための本人や同居者等の様々な注意事項は掲載されていましたが、災害時の対応については載っていませんでした。

■東大和市の避難所の対応は

…東大和市の災害時避難所については、昨年7月に開催された市議会定例会で議決された『令和2年度東大和市一般会計補正予算（第4号）』の中に7,002万9,000円の新型コロナウイルス感染症対策事業費を計上し、避難所の感染症予防のためのパーティション等を購入。

【東大和市が購入した避難所用のパーティションの概要】

～仕様～

約2メートル四方、高さ1.4メートル程度、屋根がない簡易テント型のもの。フレームと幕が一体になっており、1分弱でセッティング可能

～数量～

東大和市地域防災計画で想定している最大の避難生活者数約1万5,000人2割に相当する1,500張り程度



～保管場所～

市役所北側駐車場に設置したコンテナ2棟内。災害時には【↑避難所のパーティション】各避難所にそこから搬送。

…このパーティション整備は、新型コロナウイルス感染症対策事業費となっており、市は、その目的について「集団避難生活の感染防止とプライバシー確保のために用意した」としています。

…また、市のホームページには『新型コロナウイルスが収束する前に地震、風水害が起きた場合どうすればよいか』ということについて、感染の有無に関係なく（≠自宅療養者に限らず）市民が事前に行うことや、発災した際の避難所の対応について等が公表されています。

【東大和市のホームページに示されている災害時の避難所等における新型コロナウイルス感染症対策についてから抜粋】

～避難所に持っていくもの～

避難される際は、避難所内での接触機会を減らすため、食料や水などの非常用備蓄品に加えて、マスク、体温計、アルコール消毒液（ウェットティッシュ等）、スリッパを持参。※身分証明書の持参もお願いします。

～コロナ禍における避難所の以前と変わる点～

- ・避難者同士のソーシャルディスタンスを確保するため、受け入れ人数は今までの半分以下に減少する。
- ・避難所での受付時に、検温と問診を行う。検温と問診の結果、発熱や咳などがある方や濃厚接触者の方は専用のスペースで過ごしていただく。
- ・避難された方は、マスク着用の徹底をお願いします。

- ・避難所が過密になることを防ぐため、他の避難所をご案内する場合もあるので、その際はご協力をお願いします。
- ・避難所で発熱や咳等の症状が出た場合には、すぐに運営スタッフに申し、指示に従っていただく。
- ・避難所では、他の避難者との接触を避けていただく。

…また、市のホームページでは、避難所の受付で「一般避難者」、「発熱・咳などのある方」、「濃厚接触者の方」を判断し、エリアを分けて過ごしてもらうように書かれていますが、実際、この対応はなかなか困難なことと感じます。

■保健所からのアナウンスは

…前述のとおり、『新型コロナウイルス感染症：自宅療養者向けハンドブック』には災害時の対応は明記されていませんでしたが、東大和市を所管する東京都多摩立川保健所のホームページには『“自宅療養者”、“濃厚接触者”の災害発生時の対応について』というPDFの資料がありました。内容については「各市の避難場所等については、あらかじめ市役所の広報やホームページで確認しておく」、「避難時の経路や交通手段についても検討しておきましょう。移動時は徒歩や自家用車等を基本とし、公共交通機関やタクシーの利用は控える」、「避難所内では一般の避難者と受付方法や避難所内での部屋が異なることがある。受付時には、“自宅療養者”または“濃厚接触者”であることを必ず申告する。避難所内では、避難所運営スタッフの指示に従い、ルールを守って過ごす」、「避難所でも毎日、体温測定や健康観察を行う。体調が悪くなった場合には、多摩立川保健所、東京都発熱相談センターに連絡するとともに、避難所運営スタッフにも連絡する」といったことがA4のプリントに連絡先の電話番号等を含め書かれた資料のみでした。

…この保健所の内容を見ると、基本的には、やはり市に任せるという姿勢であることが分かります。そうであるなら、このA4のプリントの内容が自宅療養者すべてに伝わっているのかどうかについては、市と共有すべきだと思います。

■次の危機が来る前に、より現実的な内容に

…現在は日本全国、緊急事態宣言などは発令されていませんし、ワクチン接種も進んでいますが、まだ治療薬がない新型コロナウイルス感染症の完全な終息が見られないことを考えると、いつ起こるかわからない災害にも備えるべきだと、今回、改めて感じました。

…保健所も市も、一定の準備はしていますが、内容を確認すると、実際に機能するのか疑問を持つ内容です。そうでなくても、発災時は混乱している状態の中、新型コロナウイルス感染症の対応までスムーズにできるのか。また、自宅療養者の症状によっては、避難所まで移動できない場合もあるのではないかなど、すぐに頭に浮かぶ課題はいくつもあります。

…このようなことを考えると、やはり自宅療養は無くし、医療が整った環境に感染者の方を集めることが治療の面でも、災害時の面でも良いのではないかと感じます。市の関係する部署の担当者も、一度、保健所などとの連携を考え、次の危機に備えてほしいと思います。そして、すべての人が安心して、スムーズに避難所を利用できる方法を考えてほしいと思います。



市政、議会について「自然体」「ざっくばらん」にレポート。駅頭で配布するレポートは毎回、最新号です。

私たちの身近にある市政、市議会。伝えることがスタートだと思います。

■ 連絡先 和地 ひとみ事務所 HP : <http://www.wachi1103.jp>
✉ wachi_hitomi@cocoa.ocn.ne.jp 【電話・FAX】 042-516-8546
〒207-0005 東大和市高木3-274-2-102

東大和市 市議会議員
和地 ひとみ